

SNSで旬な情報を投稿しています



特集 | 第10回通常総代会



©よい食P

JAしまねは統合して10年を迎えました
—— 2015 ▶ 2024 ——



2024

JAしまね第10回通常総代会を6月30日(日)、出雲市の出雲市民会館で開催しました。



今年で第10回を数える通常総代会を6月30日(日)、出雲市の出雲市民会館で開催しました。

当日は、総代定数1,000人(欠員3人)に対し、965人(書面決議を含む)が出席。議長団に、胡摩田弘孝総代(石見銀山地区本部)、齋藤学総代(西いわみ地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和6年度は農林中央金庫の決算悪化による還元減少や共済事業における保有高の減少などにより、大幅な収益減少が予想されるが、これまで取り組んだ事業改革の成果もあり事業利益で8,000万円、当期剰余金2億2,800万円を目標に掲げ取り組む。また、農業振興支援事業についても昨年度同様1億5,000万円を計画し、米粉・有機農業の生産拡大、自動車燃料事業の県域会社化、ホームセンターとの連携にも引き続き取り組み、成果を出していきたい。JAを取り巻く環境は厳しいが、抱えている課題に対ししっかり検討を進め、組合員の負担に応えられるよう10年先を見据え更なる改革を行っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を強力に展開することを確認しました。



議長団 胡摩田弘孝 総代(左) 齋藤学 総代(右)



石川寿樹 代表理事組合長

食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議(案)

我が国農業においては、生産資材価格の高止まりが依然として続く一方で、世界的な物価高騰の波のなかでも、その流れに国産農畜産物だけが取り残されている。このままでは、多くの地域で営農が継続できるかどうかという危機的な状況にまで立ち至っている。

このようななか、JAグループのこれまでの政策提案を十分に踏まえた形でとりまとめられた「食料・農業・農村基本法改正案」の国会審議が行われ、今回で成立した。

JAグループは、食料安全保障の強化と適正な価格形成の実現、多様な農業への支援等、新たな基本法に沿った形で、次期基本計画において、早急に施策の具体化を図っていくことを、政府・与党に強く求めていく。

今後、JAの組織・事業・経営基盤が厳しさを増すなかで、不断の自己改革に取り組みながら、総合事業の力を発揮して、活動と事業の好循環による組合員の営農と豊かなくらしを実現させることが重要であり、組織内外に理解・共感されるよう取り組みの具体化をはかる。

さらに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するというJAグループの使命を果たすとともに、我が国の食と農に対する国民理解の醸成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキーワードに、消費者・事業者等への理解醸成・行動変容を促す取り組みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和6年6月30日

第10回 島根県農業協同組合 通常総代会

特別決議

第10回

通常総代会特集

令和5年度 事業報告

令和5年度は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻し、行動制限解除に伴う各種イベントの再開や海外からの訪日客の増加などにより、経済活動も活発になってきました。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻以降、国際的な資源価格高騰に加え円安傾向が続いたことにより、肥料・飼料をはじめとした生産資材価格等は高止まりを続け、農業経営に深刻な影響を与えました。

鳥根県内の経済においては、個人消費や雇用情勢等持ち直しの動きが続いており、全体的に緩やかな回復の動きが見受けられるものの、国際情勢等を踏まえた金融・為替市場の動向や物価へ与える影響について、引き続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、6月から8月にかけて発生した大雨・台風災害、記録的な猛暑により各地で農産物・農業施設等に被害をもたらしました。また、1月に発生した令和6年能登半島地震により北陸地方を中心に甚大な被害が発生しましたが、全国各地から支援が送られており、引き続き復興支援の取り組みを進めていく必要があります。

JAグループにおいては、引き続き「不断の自己改革」に全力で取り組みを通じ、農業生産基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国産産物の確立に向けた取り組みをすすめました。



日高光弘 代表理事専務

こうした状況の中、令和5年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の2年目として、園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が390億200百万円、購買品供給高が317億38百万円、貯金残高が1兆6億74百万円、貸出金残高が2,909億92百万円、長期共済保有高が2兆7,724億91百万円、貸出金残高が2兆7,724億91百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.44%となりました。

収支面については、事業利益が7億13百万円、經常利益は20億54百万円となり、当期剰余金は13億72百万円となりました。

貯金残高	1兆6億74百万円
貸出金残高	2,909億92百万円
長期共済保有高	2兆7,724億91百万円
自己資本比率	13.44%
事業利益	7億13百万円
經常利益	20億54百万円
当期剰余金	13億72百万円
販売品販売・取扱高	390億20百万円
購買品供給高	317億38百万円

【議案】

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 令和6年度事業計画の設定について
- 第3号議案 定款及び定款附属書総代会選挙規程の一部変更について(特別決議案)
- 第4号議案 規約の一部変更について
- 第5号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」からの退社について
- 第6号議案 令和6年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第7号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第8号議案 令和6年度における理事の報酬額の決定について
- 第9号議案 令和6年度における監事の報酬額の決定について



令和6年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

令和6年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、2カ年の進捗状況と中間総括を踏まえ施策の遂行を通じて、「農業者の所得増大」「農民生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対する積極的な支援、活動を通じ「農業者の所得増大」「農民生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、持続可能な生産体系の構築に向けた環境調和型農業を推進します。

また、物流の2024年問題への対応が求められるなか、産地間連携による広域物流改善への体制づくり、取り組みをすすめるとともに、産地へのコスト負担が集中しないように施策の拡充をJAグループとして求めています。

重点実施事項

- ①次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ②担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援

- ③JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施

- ④農作業等の安全・安心対策

- ⑤インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信

- ⑥営農指導・生産振興での生産者貢献

- ⑦農業振興支援事業の実施

- ⑧島根県産農畜産物の安全・安心の取り組み

- ⑨農業労働力確保対策

- ⑩将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

JAくらしの活動の実践にあたっては、活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。



販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

農産物の販売経路の多角化や野菜の加工業務用需要の増大等の流通・販売環境の変化に対応するため、株式会社JAアグリ島根・JA全農グループ等と連携を図り、有利販売と産地化を実現します。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革、EC取り引きの開始等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルティング機能を提供し、農業・くらし・地域によりそう金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者により「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・地域社会とより広く・深く・長く「繋がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。

※令和6年度事業計画より一部抜粋

令和5年度実績や令和6年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページの掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料
はこちら





功労者表彰名簿

第10回通常総代会開催にあたり、昨年9月の総代任期満了により総代を退任された皆様のなかから、統合前を含めて長年に渡りご尽力いただいた皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

くにびき地区本部

(8名)

井上 正雄 鍛冶 敏博 青戸 悟 寺本 敏夫
北野 清 高井 美範 中村 周一 菅田 秀高

やすぎ地区本部

(6名)

原田 稔 内田 卓実 原 政男 榎瀬 倫住
難波 秀夫 倉井 宏

雲南地区本部

(22名)

内田 幹雄 藤原 功 荒木 正 石田 朋子
佐佐木孝雄 山本 雅臣 加本 恂二 高橋美佐子
原 要吉 今岡 幹雄 勝部 治男 星野 昭美
藤原 順一 市場 栄 瀧 元 森山 泰孝
渡部世津夫 川角 茂 大島 伴江 藤原 徳二
石原 繁 岡田 博文

隠岐地区本部

(6名)

田中 恵吉 池田 修千 脇 良男 佐々木静夫
佐々木秀夫 井川 寛

隠岐どうぜん地区本部

(3名)

灘 誠太郎 向濱 樽幸 梅原 文雄

出雲地区本部

(26名)

渡部喜代人 高塚ヨシミ 矢田 泰男 吾郷 益雄
飯塚 啓二 西尾 信昌 三島 清三 福田 一樹
田中 正和 長岡 光孝 長岡 安治 安田 稔
小川 久吉 児玉 一好 伊藤 安治 藤江 鉄雄
石飛 嗣男 岡田 哲雄 武田 一男 石飛 憲治
竹下 茂 谷口 秋子 白根 重雄 柳楽 典子
板垣 房雄 神田 利幸

斐川地区本部

(8名)

高橋 英樹 渡邊 重夫 陰山 智 山根 陽一
高橋 正 尾原 武治 古川 和義 山根 猛

石見銀山地区本部

(8名)

和田 全司 坂根 智子 荊尾 敏 吉原 和俊
石飛 光男 松尾 薫 森田 秀治 厚朴 邦広

島根おおち地区本部

(7名)

細貝 輝男 黒川民次郎 福島教次郎 長嶋八志登
加茂 秀幸 金川 正夫 石川 秀晴

いわみ中央地区本部

(9名)

竹本 俊 石田 善正 多田 正哉 石田 将
塚本 守 小西喜美子 島本 宏 栗栖 一雄
反田 正利

西いわみ地区本部

(20名)

田中 豊志 寺戸 建治 田中 勉 平川 喜章
石橋 政行 石橋 剛 北條 義洋 大内 浩明
岡本 隆 元岡タツ子 西川 友史 齋藤 勝之
三浦富士義 林 靖登 斎藤 勲 和田 悦子
水津 正 山本 健次 河野 孝祐 佐々木富隆

。令和5年9月退任の皆様。順不同。123名



J A しまね 統合10年記念式典

～「農業」と「地域」と「暮らし」のために～

J A しまねは、組合員・地域の皆さまのおかげをもちまして、今年3月に誕生して10年の節目を迎えることができました。当 J A はこれからも農業と地域社会に根ざした取り組みを積極的に行ってまいります。



功労者表彰を受けた萬代元組合長（前左から5番目）、竹下前組合長（前左から7番目）と来賓、J A 役員ら

組合長のリーダーシップや統合による万全な経営基盤などさまざまな努力で乗り越えてきた。この作り上げられた基盤をもとに、将来にわたる持続可能な J A づくりを目指し、『攻めの改革』に取り組んでいく」と話しました。

第10回通常総代会を行った同日、出雲市の出雲市民会館で J A しまね 統合10年記念式典を開きました。各地区本部の総代や J A 役員、歴代組合長、来賓らが出席。統合から現在までの歩みを振り返り、次の10年に向け気持ちを新たにしました。

式典では、J A しまね 統合の協議を主導し初代組合長として J A 運営に尽力した萬代宣雄元組合長、2代目組合長として統合メリット発揮に向けリーダーシップを発揮した竹下正幸前組合長を讃え、功労者表彰を行いました。

当 J A の石川寿樹組合長は「統合以来、さまざまな荒波が押し寄せ J A の経営に多大な影響を与えたが、歴代



統合10年を
記念して作成した
記念誌・動画は
J A しまね
ホームページより
ご覧ください。



第10回 総代会Q&A



農林中央金庫に関する質問

・多額の赤字が見込まれる今回の農林中央金庫の問題は許されない事案だと考えている。JAしまねとして農林中央金庫へしっかり抗議すべきである。また、経営陣の責任はどうなっているのか。

- ・農林中央金庫に対し、組合員がJAへ預けた大切なお金を預かっているという自覚と責任を持って運用するよう伝えてほしい。
- ・農林中央金庫の収支状況はいつ回復するのか。

回答 6月に行われた農林中央金庫の総代会や県代表者会へ、当JAより石川寿樹組合長が出席し、今回の件に対し経営管理委員会および理事の経営責任について意見しました。その中で、報酬を減額することや、再建に向けた道筋を立てるため現体制を継続する旨の答弁がありました。理事長以下常勤役員が辞めることになれば、ますます混乱が深まることにもなり、今後、系統としての農林中央金庫の在り方について再考するとともに、農林中央金庫が全国のJAからの増資を受けながら一日も早く立ち直られるよう支えてまいります。

農林中央金庫は資本増強を受け、令和7年度以降の黒字を計画しており、以降は還元が受けられると予想されます。

人事部門に関する質問

・人事制度の一本化（新人事制度）について、なかなか協議が進んでいないと聞く。具体的に何が支障となっているのか。

- ・農業者の所得向上も大事だが、並行して職員の賃上げも重要だ。優秀な人材が辞めていくような組織ではいけない。職員が減ると営農活動が守られなくなってしまう。
- ・職場の雰囲気も大事である。働きやすい職場づくりに向けた取り組みを教えてください。

回答 原因として、総労働時間の短縮や完全週休二日制の導入、外勤日体制、地区本部ごとに定めている手当が統一できていないなどの課題整理があげられます。初任給を引き上げるためにも、JAしまね全体の賃金体系の見直しが必要です。新人事制度について、令和6年度中に実施する強い思いで協議を進めてまいります。

JAしまねでは人事教育基本方針を策定し、これをもとに職員の人事や教育を行っています。また、職場内の不祥事やハラスメント行為を報告するヘルプラインも設置しています。引き続き、職場での働きやすさ、職員がやりがいを持って働けるよう職場環境を整えてまいります。

食と農に関する質問

・「食・農・JA」について資料に記載があるが、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、子どもや孫たちが育っていく10年後の「食と農」が心配である。農業にも食べ物にも苦しむことのない、持続可能な輝かしい未来を作してほしい。

回答 令和6年度基本方針に掲げているとおり、「食・農・JA」への県民の理解醸成に取り組んでまいります。また、JAの最大の使命は食と農を守ることであり、そのためにも自己改革に取り組み、そこで生み出した財源を農業振興に活用してまいります。

運営体制に関する質問

・総代会だけではなく、もう少し時間をかけて組合員に説明する必要があるのではないか。

- ・どのように説明の場を設け組合員の意見を聞くのか。また、地区本部制や事業本部制などのメリット・デメリットを分かりやすく説明し、しっかりと意見を聞いた上で次の方向性を示してほしい。
- ・組合員で成り立っている農協であることを十分認識をいただいて、11地区本部はそのままにいただきたい。これ以上の合理化は組合員離れにつながるとの認識でいる。組合員のための農協になっていただきたい。
- ・地区本部制をいつまでもやっていく必要はないと思う。組合員に不便があってはいけないが、管理部門をまとめることで経費を抑え、それを営農部門や地域に密着したものの強化につなげるなど、JAの将来を見据えてやっていくべきだと思う。

回答 現在の地区本部制は、県内11JAが統合してスタートさせるには非常に有効な仕組みでありました。一方、事業を進めていく中で、地区本部制の良い点・悪い点が見えてきました。また、統合当時では考えられないほどJAや農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、将来を見据えた際に、より良い運営体制があるのではないかと令和6年度事業計画に記載いたしました。今後、組合員の皆さんとしっかり議論し、できれば11月頃に臨時総代会を開き方向性を判断いただきたいと考えています。

財務調整に関する質問

・財務調整未達地区本部の補填減資は出資配当のはずだが、理事会で決定した純財産計算方式で埋め込んだら財務調整が達成できたとの説明があった。純財産計算方式で埋め込むことは令和元年の第5回総代会資料に載っているとのことだが、それまでの年度でも組合員がわからないなかで理事会決定してすでに埋め込んでいるのではないかと。理事会での決定について、どのような経緯で決定されたか知りたい。

回答 統合前に取り交わした「統合に関する確認書」では、財務調整基準額に満たないJA（地区本部）は、①財務調整基準額に達するまで統合後の出資配当を増資財源とすること②統合後10事業年度までこの取扱いを行うことの2点が書かれています。

1点目の対応については、未達地区本部の出資配当はJAで留保し、出資1口金額になったら出資金に振り替えるという取扱いを行っています。

2点目の対応についても、いわみ中央地区本部が平成27年度決算、西いわみ地区本部が平成28年度決算、島根おち地区本部が平成29年度決算で、それぞれ財務調整基準額に達し、残る雲南地区本部も最終の10事業年度である今次決算で達しました。未達額に当該地区本部の当期剰余金を充当して財務調整基準額に達したかを判断する方法については、統合後は地区本部ごとの純財産計算ができない仕組みのため、純財産計算方法に準じた方法として平成28年5月の理事会で協議・決定を行い、令和元年6月の第5回通常総代会にも報告させていただいています。



この他にも多くのご意見をいただきました。



topics
1

令和6年度水稲生産者大会を開催

12
SDGs
持続可能な
消費生活

島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月11日、「食味・品質の向上で売れる米づくりを目指して」をテーマに令和6年度水稲生産者大会を開きました。大田市のアステラスをメイン会場に、各地区本部などをオンラインでつなぎ生産者や県、JAの担当者ら約270人が参加。消費者動向や高温条件下での栽培管理などについて学びました。



堀野さんの講演を聞く参加者ら

基調講演では3人の講師を迎え、このうち堀之内実験農園の堀野俊郎さんは「米の品質・食味研究と地域産米づくりへの適用」と題して講演。長年の食味研究を踏まえて、飯南町に伝わる「稲を作るな、い〜ね（根）を作れ」という言葉から発想を得た、鉄材散布による根腐れ対策と疎植による倒伏対策を組み合わせた栽培方法が良質・良食味米づくりにつながったと発表しました。

また、JAアグリ島根からは島根米の販売に関する情報提供があり、島根県農業技術センターからは、水稲栽培の高温対策として稲穂が出て種子が成長する時期（登熟期）の水管理が地温低下に有効であることや昨年県内でも発生が確認され始めたイネカメムシの発生状況や防除対策などについて報告しました。

topics
2

令和6年度島根県JA青年大会を開催



島根県農協青年組織協議会は7月17日、安来市の総合文化ホールアルテピアで令和6年度島根県JA青年大会を開きました。青年の主張と組織活動実績発表の2部門で各青年連盟から8人が発表。青年の主張の部は雲南青年連盟の藤原正博さん、組織活動実績発表の部はくにびき青年連盟の上山根有史さんが最優秀賞に輝きました。2人は12月12日に徳島県で開催される中国四国地区JA青年大会へ出場します。

藤原さんは、自身が水稲作業で困っていた際に盟友が助けてくれた経験から、農業機械や労働力などの農業経営資源を盟友同士でシェアする仕組みづくりを提案。青年連盟に加入するメリットを創り出すことで、盟友数の拡大や組織力強化にもつながると発表しました。



今大会で発表した盟友ら

審査員長を務めた一般社団法人家の光協会西日本普及文化局の小出繁副局長は「自身の経営ビジョンが盛り込まれた非常に意欲的な発表で、提案内容も明確・具体的で発展性も感じられた」と講評しました。

上山根さんは、くにびき青年連盟の食農教育活動について発表。農業に触れる機会が減る中、園児との米づくり体験やイチゴの出前授業など幼いころから関心を持ってもらうための4つの取り組みを紹介しました。

その他の入賞者は次のとおりです。

- ◆青年の主張の部優秀賞＝大森雄介（やすぎ青年連盟）
- ◆組織活動実績発表の部優秀賞＝伊藤 学（出雲青年連盟）

topics
3

県産たまごの消費拡大を 島根県養鶏協会が県知事を訪問



要請書を丸山知事（左から3番目）へ手渡す同協会の竹下会長（左から4番目）ら

県内の養鶏農家で構成する島根県養鶏協会は7月5日、丸山達也知事を訪れ、鳥インフルエンザの余波で需要が落ち込む県産たまごの消費拡大や飼料・資材価格の高止まりの影響を受ける養鶏農家への支援を求める要請書を手渡しました。

現在、鳥インフルエンザの影響で大幅に減少した全国の飼養羽数は元に戻りつつある一方で、たまごの消費が回復せず価格が大幅に下落。このような中で県外産たまごが県内市場に対して積極的な売り込みの動きがあり、県内スーパーなどで県内生産者の販路が奪われかねないといった厳しい状況が懸念されます。

この状況を踏まえ、同協会は県産たまごの地産地消・消費拡大の取り組み支援や配合飼料価格安定制度の見直しを国へ求めること、県産飼料用米の増産に向けたJAとの連携強化などを要望しました。丸山知事は「県としてもこの危機感を共有しながら今後の対策をしていきたい」と応えました。

同協会の竹下正幸会長は「県民の皆さんに消費拡大に向けた対応策を知っていただき、県産たまごを消費してもらえる状況を作っていきたい」と話しました。



同協会が今年7月に行った島根県鶏卵品質改善共励会で最優秀賞に輝いた(有)福田ファームのたまごを味わい、県産たまごをPRする丸山知事



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

西いわみ女性部

JA女性組織3か年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践3年目です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう✿

仲間と・地域と・他組織と・次代と



JAしまね西いわみ女性部は、JA全国女性組織協議会が掲げる共通目標「つながろう」「まもろう」「かかわろう」をもとに、12の支部で年間計画を立てながら活動しています。

年に一度の恒例イベントとして、全女性部員が参加するグラウンドゴルフ交流会や生活研修旅行を企画し、部員同士の交流を深めています。その他にも、女性部としてJAの支部祭り、地域のイベント、ミニデイサービス、ちやぐりんフェスタ、JA地区座談会、おもてなしプロジェクト、目的別グループ活動



(料理、手芸、読書会、野菜作り、50年続く味噌作り、地域貢献) など、積極的に参加・活動しています。

また、同女性部が行う「手作りハム」の活動は好評で、今年も各支部で取り組んでおり、女性部活動のメインとなっています。この活動は部員の新規加入にもつながっています。

今後もJAや地域に貢献しながら女性部が団結し、みんな楽しく活動していきたいと思えます。



JA YOUTH

一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

おがさわら
小笠原

こういち
晃一さん



JAしまね島根おおち青年連盟石見支部(以下、農青連)に加入している小笠原晃一さん(40)は、地元邑南町で就農して今年で8年目。県内の農林大学校を卒業後、11年間は花・野菜農家へ雇用就農。そこで働く中で「自分の手で消費者に『美味しい!』また買いたい!」と笑顔で評価してもらえる物を作りたい」という気持ちを持つようになり、8年前から野菜農家として自営就農を始めました。安全・安心をモットーに、夏はミニトマト、冬は白ネギ、その他にもピーマン、キャベツなど幅広く野菜を栽培しています。

農青連としては島根県農協青年組織協議会の委員を務めている小笠原さん。「島根おおちはもちろんだが、島根県全体の農青連を盛り上げられるような活動をしていきたい!」と今後の展望を熱く語りました。

カラフルな葉は観賞用にも

スイスチャードは和名をフダンソウ（不断草）といい、ホウレンソウと同じアカザ科の野菜で、おひたし・あえ物・炒め物に利用します。

生育適温は15～20度ですが、暑さ・寒さに強く、ホウレンソウの作りにくい夏に容易に栽培ができます。このように、フダンソウの名前は季節を問わず絶え間なく栽培できることに由来します。中間地では、春まきは4月に種まきし、5、6月に収穫し、夏まきは7月にまいて8月に収穫できます。秋まきは10月に種まきし、12月から下葉をかきながら収穫を始めます。

品種

「アイdeal」(サカタのタネ)、「ブライトライト」(タキイ種苗)は葉柄、葉脈が赤、白、黄色などに着色します。フダンソウと呼ばれる品種には、「ふだん草」「うまい菜」などがあります。

畑の準備

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを予定の畑に散布して耕しておきます(図1)。その後、化成肥料200gと堆肥2kgを施し、床幅90cmの栽培床を作ります。

種まき

10～30度で発芽し、適温は25度程度です。じかまきでは条間20cm程度、株間5cm程度の間隔で1カ所に3、4粒を種まきします(図2)。1粒の種(種球)から2、3本発芽するの

で、厚まきしないよう気を付けましょう。種まき後は、不織布でべたがけをして、幼苗を保護すると良いでしょう。苗作りをする場合はセルトレーや小型ポットを使い、本葉5、6枚まで育て、栽培床に条間20cm程度、株間15cm程度に植え付けます。

間引き・追肥

発芽後2、3回に分けて間引きます。初めは本葉が開く頃に、生長の遅れた株や密になっている所の株を抜き取ります。最後の間引きで本葉4、5枚の頃に株間15cm程度にします。このとき追肥として化成肥料は1平方m当たり30g程度を条間に施して根元に軽く土寄せします。

収穫

えぐみの少ない若取りを心がけ、春まきで種まき後40～50日、夏まきで30～40日、秋まきでは40～60日で、草丈が20cmくらいから収穫します(図3)。下葉からかき取って利用すると、長い間楽しめます。カラフルな品種を観賞用とするとき

は、葉の長さを40～50cmまで大きくすると良いでしょう。また、秋まきでは冬に向かうにつれ、葉が鮮やかに着色します。

図1 畑の準備



図2 種まき(じかまき)

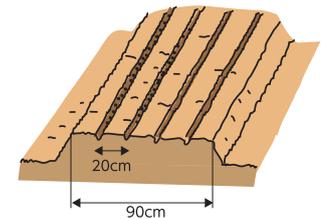
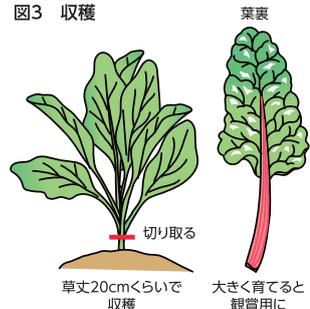


図3 収穫



栽培カレンダー (スイスチャード)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
冷涼地	●	■	■	●	■	●	■	■		
中間地	●	■	■	●	■	●	■	■		
暖地				●	■	●	■	■		

● 種まき(じかまき) — 生育 ■ 収穫

理事会情報 (7月2日開催)

【協議事項】

- ①新規プロジェクトの設置について
- ②令和6年度補助事業の実施について
- ③令和6年7月4日付・8月1日付 機構改革の実施について

- ④第10事業年度業務報告書について
- ⑤常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑥人事ローテーション実施要項の制定について
- ⑦新人事制度導入に向けた今後の進め方について

理事会情報 (7月29日開催)

【協議事項】

- ①令和7年度島根県農業政策及び予算に関する要望について【第一次案】
- ②ディスクロージャー誌2024について
- ③農林中金からの資本再構築の協力要請への対応につ

- いて
- ④大口貸出について
- ⑤理事(常勤・非常勤)と組合の取引について
- ⑥令和5年度決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見)への回答について

総代説明会を開催

J Aしまね西いわみ地区本部は6月20日、益田市民学習センター多目的ホールにおいて令和6年度総代説明会を開催しました。

当日は、西いわみ地区本部常務理事田村清己本部長をはじめ、日高光弘代表理事専務、田中徹常務理事、坂本満常務理事が出席し、6月30日開催のJ Aしまね第10回通常総代会提出議案について説明を行いました。



主な発言内容と回答

齋藤 学総代 (六日市地区)

質問 減損損失とはどういったものか。また、それによって西益田支店がどうなるのか。

田中常務

A 固定資産を取得している各支店では、事業を行うのにかかる費用やそれによって生み出される収益を計算し2年連続で赤字になると、固定資産の投資自体が効果的であったのかということになり、将来的に固定資産の生み出す利益とかかる費用とを比較した際に、賄えない固定資産の金額を落とす会計制度が減損損失である。

今回の西益田支店という旧山陰合銀の施設を取得して固定資産の金額が増え、また店舗再編による新たなグループによって2期連続の赤字となり、将来生み出すであろう利益とかかる費用を計算したときに賄えないであろう固定資産の金額が3,700万円となり、その金額を今年度で埋めたもの。

棕本統祐部長

A 西いわみ地区本部では平成30年に柿木・美都・匹見支店を3店合計で1億5,000万円程度、令和元年度は六日市グループで約5,000万円、令和2年度は匹見・六日市併せて3,000万円程度を減損処理してきた経過がある。減損を行った支店の収支が悪い

ということだけではなく、支店の収支に併せて各地域にある農業関連施設を一緒にグループピングとするため、農業が盛んな地域で農業関連施設等が多い支店が減損処理の対象となる傾向がある。将来発生する費用を先行して処理する性質の会計処理であり、支店がどうこうということではないので理解していただきたい。

齋藤 学総代

質問 最後の方に地区本部体制の見直し、何かを共有するような言い方があったが詳しい説明を。

日高専務

A J Aしまねは平成27年に統合し10年が経過するところである。統合当初地区本部制で11の地区本部という組織として損益管理もそれぞれの地区本部が独立採算的運営をすることが地域の特性や営農、生活習慣にあっているのではないかとして運営してきた。10年が経過し、地区本部制の良いところ悪いところが見えてきた中で、10年後を見据えて農業振興をしっかりとやっていくにはこのままではいいのか、事業を再編しバーチャルな経営体制を整えるためにどうしたらいいのか、これを組合員、総代の皆様の意見を伺いながらJ Aしまねの将来の運営方式を検討するために6年度の計画の中に記載した。

どのような検討・検証・協議を行うか具体的な提案は本日のところではできないが、現状のままでは

は10年先が心細いということだけは申し上げる。

齋藤 学総代

質問 新聞やテレビでいわれている農林中央金庫の1兆5,000億円の赤字は誰が責任を取るのか。我々の貯金はどうなるのか。

日高専務

A 1か月ほど前に令和6年度の農林中央金庫の決算見込みが▲5,000億円という話がでており、それが一昨日農林中金の公表した欠損見込が3倍の1兆5,000億円に上ると報告があり我々も愕然としている。

農林中央金庫とJ Aしまねでの事前協議の中で皆様からお預かりしている貯金5,500億円をJ Aしまねから農林中央金庫に預けている。これについては当然毀損させない、そしてそれに見合う利息についてはしっかりと確保して農林中金が責任をもって進める。ただし、財務を安定させるために資金を全国のJ Aから農林中央金庫へ拠出する。そうして農林中央の体制をしっかりと整えて皆様からお預かりしている大事な財産をしっかりと守るといってもいい。

またJ Aしまねの組合長である石川は明日、農林中央金庫の総代会へ出席する予定であり、そのなかですっかりと経営者の経営責任を問う、そして全国のJ A、組合員に対して迷惑のかからない対応をするようにと意見をすることによって上京

しているのをあわせて申し上げます。

又賀 保総代 (益田中央地区)

質問 メロンとトマトを出荷しているが、今シーズンに選果機が止まって収穫したものが出せないという状況があった。計画的に収穫してもそういう事態がおこることに不安がある、いつなおなるのか。

日高専務

A 選果機の関係では非常にご迷惑をかけたことをJ Aしまねの役員としてお詫び申し上げます。選果機については石川組合長も昨年の巡回時に状況を把握しており、田村本部長からも施設の老朽化を聞いています。今後改修計画をしっかりと協議対応させていただきます。

田村本部長

A メロンについては今年度出荷時期のずれからピーク時が集中し、先週土曜日に6,000ケースが一気に出荷され、それまで小玉だったものが、一気に大玉になりラインの一部に負荷がかかり過ぎたために不具合が発生した。現在は正常に動いているが、皆様ににご迷惑のかからないようにしていく。

2011年に現在の選果機が導入され14年経過する中で、昨年2,000万円かけてメインシステム更新をしている。また10年かけてライン全体の改修として1億円の改修を予定している。



益田市農政会議通常総会を開催

益田市農政会議（岩本和雄会長）は7月7日、益田市幸町の三好家で第36回益田市農政会議通常総会を開催しました。

岩本会長は冒頭、「資材費の高騰が続く中、農産物への価格転嫁が出来ていない現状を打破していくことが重要である。また、食料・農業・農村基本法の改正法が成立し、これからさらに農業者の団結が必要になってくる」と挨拶しました。

来賓に丸山達也県知事、山本浩章益田市長や石倉茂美島根県農政会議会長らを迎え、令和5年度の活動報告や令和6年度の活動方針等を協議しました。

代議員からは「益田市の農産物のPRに行政と一体となつて取り組むべきだ」等の意見がでました。



鹿足郡内の農政会議が同時刻同会場で開催

鹿足郡に活動拠点を置く津和野町農政会議（永田寿秋会長）、吉賀町農政会議（齋藤一栄会長）は7月17日、津和野温泉なごみの里において第19回通常総会を開催しました。

両会議は温泉施設内の2ヶ所の会場に分かれ同時刻に開会し、それぞれ議案審議を行いました。

地元選出の中村芳信島根県議会議員、岩本一巳吉賀町長、島根県農業者政治連盟山中康樹会長、益田市農政会議岩本和雄会長が来賓として出席し、日頃から地域の農業を守り農村の維持発展に取り組んでいる両組織の会員各位に敬意と感謝を伝えました。

津和野町農政会議は木村大輔さん、吉賀町農政会議は齋藤一栄会長がそれぞれ議長を務め議案審議を行い、組織の活性化に向けた活発な意見が出るなど充実した議論を経て、全ての議案を可決承認しました。

総会終了後、日本農業新聞論説委員長 鈴木祐子氏による「改正食料・農業・農村基本法の『つっこみどころ』〜未来をつくる言葉と考え方〜」と題した講演会が行われ、食料安全保障など改正基本法の五つの柱に対する鈴木委員長「の『つっこみ』によって、食料の『生産力増大から調達力の確保』へシフトされる等、不透明だった部分」が改めて浮き彫りになりました。



綱領の唱和



日本農業新聞論説委員長 鈴木祐子氏による講演



開会の挨拶をする
吉賀町農政会議
齋藤一栄会長



開会の挨拶をする
津和野町農政会議
竹内和善副会長



J A女性部津和野支部集会を開催しました

J Aしまね西いわみ女性部津和野支部（中川美恵子支部長）は7月4日、津和野温泉なごみの里において令和6年度津和野支部集会を開催しました。

中川支部長の開会の挨拶に続き、J Aしまね西

いわみ地区本部中村力理事が来賓の挨拶を行いました。

議長に大内康子さんが就任し、令和5年度の活動報告並びに収支決算、令和6年度の活動計画並びに収支予算案の審議を行い、全会一致で可決承認しました。

津和野支部では、J A女性組織3ヶ年計画「想いをひとつにかなえよう」を基に、「つながろう」「まもろう」「かかわろう」を具体的な目標に掲げ活動しています。

ハム作りや味噌造りを通じた部員同士のコミュニケーションを図り、グラウンドゴルフや各種研修会に積極的に参加することで部員同士が「つながり」、太鼓谷稲成神社大祭・新嘗祭、わんぱくラン



ドの餅つきを通じて、伝統文化の継承や食育など次世代に繋ぐ大切なものを「まもり」、支店に来店される利用者へのおもてなしをテーマに、手作り柏餅のプレゼント・手芸作品の展示などJ Aとの「かわり」を大事にしています。

集会終了後、中林光さんを講師に迎え「スッキリ軽やかに暮らすお片付けセミナー」と題した研修会を行い、要・不要の判断や使用頻度によって収納を分けるポイントなど「お片付け」について学びました。



西いわみ和牛改良組合総会

西いわみ和牛改良組合（寺戸倉雄組合長）は7月12日、J Aしまね西いわみ地区本部会議室において令和6年度通常総会を開催しました。

開会にあたり寺戸組合長は挨拶で「島根県内各地で大雨による被害が発生しており、いっどこで何が起ころるか分からない状況と言え各自注意が必要。併せて牛は暑さに弱い動物、梅雨明け以降の猛暑対策もしっかりとお願いしたい。また種雄牛

の大型化によって出産子牛も同様に大型化した。分娩時の事故等防止に努め一頭でも多くの子牛を市場へ出荷いただきたい。依然飼料価格等物価の高騰が続く、和牛生産農家にとっては厳しい状況と言え。関係機関と一体となつて生産率の向上を目指したい」と話しました。

続いてJ Aしまね西いわみ地区本部田村清己本部長は「北海道全共に向かつて残り3年となった。前回の鹿兒島全共が続いて上位成績を目指してしっかりと取り組んでいきたい。本日の総会において



貴重な意見をいただいで、共に進もうという熱い気持ちで臨んでいきたい」と挨拶しました。来賓を代表して島根県西部農林水産振興センター益田事務所の島津欣史所長に挨拶をいただき、慣例で寺戸組合長が議長を務め議案審議を行いました。

令和5年度の活動報告並びに収支決算の報告、令和6年度の活動計画並びに収支予算案を全会一致で可決承認し、第3号議案役員改選では寺戸組合長以下全員の留任を決定しました。





日原タラの芽生産組合総会

日原タラの芽生産組合（竹内和善組合長）は7月2日、益田市昭和町の益田合同庁舎5階会議室において令和5年度（第37回）通常総会を開催しました。

開会の挨拶で竹内組合長は、令和5年度における山菜全般の健闘を称えた上で、出荷量に影響されることなく高単価で推移し、組合史上最高となる3,732万円の販売実績を上げたことについて、生産者各位の努力と市場をはじめとする関係各位に感謝の意を伝えました。また、各種事業（産地創生事業・JAしまね農業振興支援事業）を活用した山菜パックス機の導入計画等についても触れ「有利販売につながる取り組みを積極的に進め、市場における産地としての知名度を上げ、生産者の安定した収入の確保につなげていきたい」と話しました。

JA挨拶・来賓挨拶に続き竹内組合長が議長を務め議案審議を行い、全ての議案が可決承認されました。第5号議案役員改選では竹内組合長の留任が決定し、うるい部長の永田寿秋さんが監事、日原地区代表の矢崎陽一さんがうるい部長、津和野地区代表に山村朋弘さん、日原地区代表に久保田豪さんがそれぞれ就任しました。



産直コーナー愛菜果市「旬」通常総会開催

農産物直売コーナー出荷者協議会（大畑秀人会長）は7月12日、益田市市民学習センター多目的ホールにおいて第19回通常総会を開催しました。

開会にあたり大畑会長は「私たち人間は身体に良い物を食べることで元気に過ごすことができ。各自が元気な農作物を生産しその作物を食することで栄養の補給をしている。同時に我々生産する側としても、農作物の生産過程で手掛けた努力に報いるだけの収穫と収入は得られなければならぬ。本日は皆さんから貴重な意見をいただき今後の会の運営に活かしていきたい」と挨拶しました。

続いてJAしまね西いわみ地区本部田村清己本部長は挨拶で、九州地区の早場米60kgあたりの価格が19,000円で提示された情報について触れ、「今後決定する全国の令和6年度産米価格に弾みがつくのでは」との見解を述べた後「猛暑の中、熱中症等に注意して良い物を生産し、産直コーナーを盛り上げていただきたい」と話しました。農事組合法人横尾衛門の豊田美絵さんを議長に選任し議案審議を行い、令和5年度活動報告並びに収支決算、令和6年度活動計画並びに収支予算案等全ての議案を可決承認しました。

総会終了後（一社）農文協中国四国支部向井道彦氏による、現代農業講座「直売所名人になろう！夏秋編」〜乗り切れ！活かせ！地球沸騰化時代の夏！〜と題した講習会が行われました。





赤雁農村歳時記 第2弾 生き物調査

益田市赤雁町の有限会社赤雁の里とJAしまね西いわみ地区本部は7月21日、同町の赤雁の里交流館周辺で益田市内の小学生や幼児とその家族31人が参加して、農村歳時記の生き物調査を行いました。

講師に高津川水系の生態に詳しい吉賀町の「魚酔」吉中力氏を招き、川辺に生息する魚を見つける方法やポイントについて説明を受けた後、まずは春に植えた「20祝」の文字も浮かび上がり、稲がすくすくと成長した田んぼに入り生き物を探しました。

次に近くを流れる自然豊かな沖田川では、吉中先生から教わった「ガサガサ」という手法で葦など雑草の影や石の隙間へ何度も網を入れ、様々な生き物を見つけては歓声を上げていました。

調査終了後生き物が入った捕獲ケースを持ち寄り確認してみると、ハヤ・モクズガニやアカハライモリ、なんと体長5センチのスッポンまで入っていました。吉中先生からは「この川の自然環境が損なわれていない証拠」と説明がありました。

昼食は交流館駐車場に設けられた流しそうめんをメインにおにぎりや柏餅、自作する綿菓子・かき氷などもあり、暑い夏の始まりを楽しく過ごした一日でした。



西いわみ女性部美都支部「泥落とし」

JAしまね女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は6月27日、益田市美都町の美都温泉湯元館で、支部会員をはじめ益田市健康増進課の職員・JAしまね益田東支店の職員等約40人が参加して泥落としを行いました。

この日は、田植え作業で疲れた体を労わって湯に浸かる目的以外に、いつまでも元気に生活するために、日頃の生活習慣や食生活の乱れによって引き起こされる様々な『生活習慣病』の発症リスク等について学びました。

参加者全員で「益ます元気体操」や、カラダ若返りブック（家の光5月号付録）を参考にした座ったままでも踊れる「椅子フラ」にも挑戦し、日常生活の中で意識して体を動かしてみることの意義や、長時間継続して行なう有酸素運動の重要性について再認識することが出来ました。





農耕用大型特殊免許取得講習会

J Aしまね西
いわみ地区本部
は7月4日・5
日の2日間、J
Aしまね西部家
畜市場で農耕用
大型特殊免許取
得準備講習会を
行いました。

農家の高齢化
に伴って担い手
の経営面積が増
大し、使用する
農業用機械の規
格が大型化した
ことで、移動に
必要となる公道
走行において大
型特殊免許は必
要不可欠な資格となりました。このことが個人農家にも波及し毎年20人近い農業者の皆さんが受講しています。

この日も16人が午前・午後の2班に分かれ、免許取得に向けて終日熱心に受講し、翌週7月8日・9日に島根県西部運転免許センターで行われた資格取得試験に臨み全員合格しました。



長さ4.7メートル、幅1.7メートル、高さが2メートルを超え、走行速度が時速15キロ以上のスピードが出せる農業機械で公道を走行する際は大型特殊免許が必要です。

7月西部子牛市場成績 (税込)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体種
益田市 (益田)	雌	35	661,100	228,800	417,278	298
	去勢	58	718,300	321,200	584,691	346
	計	93			522,398	328
益田市 (美都)	雌	2	444,400	344,300	394,350	309
	去勢	0				
	計	2			394,350	309
益田市 (匹見)	雌	2	391,600	356,400	374,000	280
	去勢	1	473,000		473,000	324
	計	3			407,000	294
津和野町 (津和野)	雌	1	349,800	349,800	349,800	311
	去勢	2	522,500	192,500	357,500	268
	計	3			354,933	282
津和野町 (日原)	雌	5	676,500	334,400	465,520	280
	去勢	7	666,600	336,600	518,571	337
	計	12			496,467	313
吉賀町 (柿木)	雌	1	391,600		391,600	252
	去勢	1	398,200		398,200	268
	計	2				260
吉賀町 (六日市)	雌	4	391,600	354,200	376,475	307
	去勢	1	492,800		492,800	322
	計	5			399,740	310
西部市場 総合計	雌	58	676,500	228,800	406,857	298
	去勢	85	718,300	192,500	551,684	340
	計	143			493,753	323

畜産

7月の子牛市場

7月16日、雌58頭・去勢85頭、計143頭の上場により、西部家畜市場が開設されました。平均価格が雌407千円(前回比91%)、去勢552千円(前回比108%)、計494千円(前回比102%)と、暑熱等の損耗で発育にバラつきがあったこと、全国的に相場が下落傾向にある為か、平均価格ではやや上昇したものの、雌が前回比41千円安と大きく下落しました。また枝肉相場も下落傾向にあるため今後の相場の動向が注目されます。

次回の市場開設日は9月17日、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に暑熱対策等おこない、愛情を持って管理をしていただくようお願い致します。





益田グリーンセンター30周年記念セール

J Aしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは7月19日・20日の2日間、オープンから30年となる記念セールを行いました。

益田市内の二つの農協が合併後まもなく、益田グリーンセンターをオープン、系統の農業資材を中心とした販売拠点としてスタートし、多くの農業者の負託に应运えてきました。

当日は、電動工具の2点よりどりセールや、除草剤（ザクサ・ラウンドアップ）の特価セールなど、特別価格に設定した農業用資材の展示販売を行いました。

また、J A全農島根農機サポート（株）西いわみ営業所は、コンバインやトラクターといった大型農業機械から小型管理機・刈払機などを展示、来場された方から作業中の機械トラブルなどの質問もあり、職員が親切丁寧な説明で応えていました。



秋の感謝セール

大売り出し
大売り出し

益田グリーンセンター 売り出しを行います!!

野菜用肥料・農薬・除草剤
人気のキャベツ・白菜等プラグ苗
大売り出し!!

その他様々な商品を取り揃えてお待ちしております

日時 9月20日(金) 9:00~17:00 21日(土) 9:00~16:00

益田東高校 第13回神楽甲子園出場

J A共済連とJ Aしまね西いわみ地区本部は7月10日、J A共済連の地域文化支援活動として神楽甲子園へ出場する益田東高等学校（坂田仁志校長）へ助成金を贈呈しました。

神楽甲子園は地域の伝統芸能を継承する高校生の技術の向上と地域間交流を目的に開催され、7月20日・21日に広島県安芸高田市の神楽門前湯治村神楽ドームで、全国22校の高校生が参加し技を競い合いました。昨年に続いての出場となった同神楽部は大会2日目に登場し、持ち時間を有効に使う「国受」を熱演しました。



西いわみ滝元英二統括支店長（左）が坂田仁志校長先生（右）へ「頑張って来てください」と趣意書を添えて目録を手渡しました。

令和6年産米穂肥講習会

JAしまね西いわみ地区本部は7月2日から7月10日までの間、22会場で穂肥講習会を行いました。

1 等米比率を高めるためのポイント

適切な穂肥時期と施用量の判定＝出穂25日前（幼穂1.0mm）の莖数と葉色を確認！

【穂肥施用時期と量の目安】

() 内は葉色スケール値

品種	1株莖数	葉色	穂肥の時期と量の目安
コシヒカリ	20本以上	濃 い(5以上)	施用しない
		やや濃い(4~4.5)	出穂15日前に7kg
		淡 い(3.5以下)	1回目：出穂20~18日前に7kg 2回目：出穂10日前に7kg
	20本未満	濃 い(5以上)	出穂15日前に7kg
		やや濃い(4~4.5)	1回目：出穂20~18日前に7kg 2回目：出穂10日前に7kg
		淡 い(3.5以下)	1回目：出穂20~18日前に10kg 2回目：出穂10日前に10kg
きぬむすめ	—	濃 い(5以上)	出穂15日前に10kg
		やや濃い(4.5以上)	1回目：出穂20日前に7kg 2回目：出穂10日前に15kg
	—	淡 い(4以下)	1回目：出穂20日前に15kg 2回目：出穂10日前に15kg



三葛会場（7月10日）



適切な水管理＝乳白量や基部未熟、同割れの原因となる早期落水は止めましょう！

●出穂後25日は間断灌水を行い水不足にならないよう注意！

病害虫対策＝カメムシによる斑点米は1000粒中に2粒(2%)以上で等級低下！

●イネ科の雑草は出穂10日前までの除草が重要です（一斉草刈等集団的な取り組みがより効果的）

●本田での防除は乳熟期～糊熟期に行うことが重要です（適切な防除を行うことで農薬の効果が十分得られます）



薬剤名	適用病害虫	使用量(10a)	使用時期	防除期
ビームトレボン粉剤5DL	いもち病	3~4kg	収穫7日前まで	穂揃い3日後
	カメムシ類	4kg		
スタークル粉剤DL	カメムシ類	3kg	収穫7日前まで	1回目防除の10日後

※病害虫は主要なもののみを記載しています。その他の病害虫は各農薬の適用表を参照してください。

※粒剤については薬効が出るまでに時間がかかります。登録農薬は変更される場合があります。農薬の使用にあたっては表示ラベルをよく確認して使用してください。

農業機械の安全使用研修会を開催

石西地域農林振興協議会（会長：山本浩章益田市長）は7月18日、JA全農島根農機サポートセンター(株)西いわみ営業所で農業機械の安全使用研修会を行いました。

農作業死亡事故は全国で年間約300件発生しているといわれ、10万人当たりの事故死者数は建設業の約2倍と高く推移しています。

今回は参集範囲を、益田市・津和野町・吉賀町の認定新規就農者・農業研修生等を対象とし、参加者はVRを使って仮想現実（農業機械操作時の事故・ケガ）を体験するなど、トラクターや刈払機の安全操作手順・メンテナンス方法について学びました。



令和6年産米 検査計画

2024年		8月										9月																			
倉庫 (検査場所)	支店・地区	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
中央 (双葉)	益田東支店	○		○						○							○							○							
	真砂地区	○		○						○							○							○							
	津田地区	○		○						○							○							○							
	種地区	○		○						○							○							○							
	北仙地区	○		○						○							○							○							
	鎌手地区	○		○						○							○							○							
	中西支店	○		○			○				○			○							○							○			
	美濃地区	○		○			○				○			○							○							○			
	二条地区	○		○			○				○			○							○							○			
	小野地区	○		○			○				○			○							○							○			
中吉田	豊田地区	○		○					○						○							○							○		
	高城地区	○		○					○						○							○							○		
	駅前地区					○						○								○							○				
	吉田地区					○						○								○							○				
	高津支店					○						○								○							○				
美都RC 匹見 山下 鷺原 日原 七日市	益田支店					○					○									○							○				
	豊川地区					○					○									○							○				
	美都地区		○							○						○						○							○		
	匹見地区						○						○								○						○				
	津和野地区		○			○				○				○							○			○				○			
	津和野地区					○			○				○								○			○				○			
	日原地区						○						○								○						○				
	吉賀地区							○					○								○						○				

2024年		9月									10月																				
倉庫 (検査場所)	支店・地区	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
中央 (双葉)	益田東支店	○							○						○					○								○			
	真砂地区	○							○						○					○								○			
	津田地区	○							○						○					○								○			
	種地区	○							○						○					○								○			
	北仙地区	○							○						○					○								○			
	鎌手地区	○							○						○					○								○			
	中西支店				○						○									○								○			
	美濃地区				○						○									○								○			
	二条地区				○						○									○								○			
	小野地区				○						○									○								○			
中吉田	豊田地区						○							○						○							○				
	高城地区						○							○						○							○				
	駅前地区			○							○									○							○				
	吉田地区			○							○									○							○				
	高津支店			○							○									○							○				
美都RC 匹見 山下 鷺原 日原 七日市	益田支店									○					○					○							○				
	豊川地区									○					○					○							○				
	美都地区								○						○					○							○				
	匹見地区						○						○							○						○					
	津和野地区			○			○			○				○						○				○			○				
	津和野地区				○			○			○				○					○				○			○				
	日原地区					○					○				○					○						○					
	吉賀地区			○			○				○				○					○						○					

○米袋の銘柄・品種名欄には、「つきあかり」「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」「五百万石」「佐香錦」「ヒメノモチ」「ミコトモチ」等
ひらがな・カタカナ・漢字に注意して産地品種銘柄で記入して下さい。

○紙袋出荷について、皆掛重量が「30.5kg」になりますので、袋詰めの際にはご注意願います。



メガネ・補聴器の専門店 PARIS MIKI

1級 眼鏡作製技能士

認定補聴器技能者

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書パソコン用、遠近両用でも
メガネ一式

¥13,200~ 税込

『移動型店舗
パリミキカー』



お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 へ お気軽にどうぞ

令和6年 9月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

3日(火)	9時~12時	西益田支店	17日(火)	10時~13時	六日市経済C
	13時~16時	益田中央支店		18日(水)	9時半~13時
4日(水)	9時半~13時	匹見事業所	19日(木)		10時~15時
5日(木)	9時~13時	日原経済C		20日(金)	9時半~13時
6日(金)	9時半~13時	柿木事業所	30日(月)		10時~15時
11日(水)	9時~12時	中西事業所			
	13時~16時	益田グリーンセンター			

にしいわみひろば 読者の川柳

お題 「灯籠流し」

10月のお題は「秋刀魚」です
ご応募お待ちしております

- 灯籠流し 供養の気持 のせて行く (益田市 竹田 和夫さん)
- ユラユラと 灯籠流し 幻想的 (益田市 佐々木いさ子さん)
- 思い込せ 川面しずかに 灯籠灯 (益田市 岡崎 雄一さん)
- 祈りこめ 灯籠流し 高津川 (益田市 喜村 信江さん)
- 逝った方 想い出多く 祈るのみ (益田市 加治イトヨさん)
- 先祖供養 願いをこめて 清流へ (益田市 棕木 節子さん)
- 灯籠の あかりにさそわれ 流れゆく (益田市 澁谷美保子さん)
- 亡き母の 恩に報いる 灯籠流し (益田市 加藤 富之さん)
- 手を併せ 灯籠流す 孫ヒ孫 (益田市 小笠原かよみさん)
- 亡き人に 灯籠流しで 逢えるかな (益田市 両見かすみさん)
- 亡き母に 灯籠流し 心届ける (益田市 宅野ミツ代さん)
- 送り灯を 乗せて灯籠 泪と流す (益田市 若林 和紀さん)
- 闇深き 灯籠流し 川下る (益田市 柳井 文江さん)
- ご先祖様 灯籠を孫に壊され 苦笑い (益田市 齋藤 照平さん)
- ゆかた着て 灯籠流しに 母思う (益田市 野村 芳子さん)
- 灯籠の 流れる水面 かじか鳴く (津和野町 大井 守さん)
- 亡き人を しのんでまつる 灯籠流し (津和野町 日熊 春子さん)
- 故人の顔 写る水面に 灯籠流し (津和野町 大羽ミヤ子さん)
- 送り盆 灯籠流し 手をあわす (津和野町 豊田 往野さん)
- ふる里の 灯籠流し 原風景 (津和野町 齋藤 久衛さん)
- 若若し 灯籠流しの 声ひびく (津和野町 古山 包子さん)
- 灯籠流し 終えて孫らと 追善する (津和野町 中野 健一さん)
- 亡き父母に お詫びと感謝の 灯籠流し (吉賀町 安富 亮子さん)
- 先祖様 灯籠流し できなくて (吉賀町 中村恵己子さん)

川柳 応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和6年9月15日(当日消印有効) ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課

9月の無料年金相談会~お気軽にご相談を~

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をお持ちいただくと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。ぜひ会場にお越しください。

9月の年金相談会

9月19日(木)益田中央支店

10:00~19:00 JA年金相談員 ※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

西いわみ地区本部 西いわみ統括支店 金融課
年金相談センター(0856-22-8680)は、
平日(8:45~17:00)いつでもご相談いただけます。



西いわみ地区本部からのおしらせ

JAしまね西いわみ地区本部年金友の会 寿ロード

阿蘇の大自然と 日本三名城の「熊本城」をめぐる 阿蘇内牧温泉 2日間の旅



旅行実施日 令和6年

11月11日(月)~12日(火)

旅行代金 大人お一人様 西いわみ地区本部管内・ホテル4~5名1室利用・税込

47,500円

3名1室利用の場合2,200円増し、2名1室利用の場合4,400円増し
ご旅行出発前に最終行程表とご旅行代金請求書を送付致します。最寄りのJA支店・事業所よりお振込みをお願いいたします。尚、恐れ入りますが、振込手数料はおお客様負担でおねがいいたします。

募集人員 120名様 (最少催行人員105名様)

申込締切日 令和6年 9月27日(金) 但し定員に次第締め切らせて頂きます。

申込金 12,000円 (旅行代金に充当)

食事条件 朝1回・昼2回・夕1回

添乗員 同行して旅程管理業務をおこないます。

利用バス会社 第一観光バス・浜田交通

宿泊ホテル

阿蘇プラザホテル



■ 旅程	●入場観光、○下車観光(施設には入りません)	食事
1日目	JAしまね 西いわみ地区本部管内各地 (6:00~7:00) —— 博多はねや総本家(昼食) —— 生まれ変わった新阿蘇大橋 大橋展望所 ヨ・ミュール —— 阿蘇プラザホテル(泊) (17:20着)	貸切バス 新阿蘇 朝: × 昼: ○ 夕: ○
2日目	阿蘇屈指のパワースポット ホテル (8:00発) —— ○阿蘇神社 —— —— 城見櫓(昼食) —— JAしまね 西いわみ地区本部管内各地 (19:30~20:30着)	熊本地震からの復興 朝: ○ 昼: ○ 夕: ×

★交通機関の都合により行程スケジュールが変更になる場合があります。
★ご集合場所・出発時間は出発の1週間前にお届けする最終日程表にてご案内いたします。

旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上、お申し込み下さい。

本旅行は次の条件に基づきます。

この旅行は(株)農協観光(観光庁長官登録旅行業第939号、以下「当社」といいます。)が企画・募集する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする取引条件説明書、契約書、確定書面(最終旅行日程表)、及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行代金に含まれるものは次のとおりです。
旅行日程に明示した航空・船旅・鉄道等利用交通機関の運賃、旅行日程に含まれる送迎バス等の料金、旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)、宿泊の料金・税・サービス料、食事の料金・税・サービス料。

●旅行代金の運賃料金、団体行動中の心付、添乗員付付の添乗員の同行費用。なお、これらの諸費用はお客様の都合により一部削減されても原則として払戻はいたしません。

●旅行の申込みと契約の成立時期及び旅行代金のお支払いについて
参加お申込みの際、当社所定の旅行申込書にご記入のうえ、右記の申込金をお支払い下さい。お申込金は旅行代金お払い込みの際差し引かせていただきます。

お電話等でお申込みの場合は、お申込み翌日から起算して3日以内に申込書と申込金を提出していただきます。旅行契約は当社が予約を承諾し、申込書と申込金を受領したときに成立するものとします。旅行代金は、旅行開始の前日から起算して11日目に当たる日までにお支払い下さい。

(取消料)

取消日	取消料
旅行出発日の前日より起算して21日前まで	無料
旅行出発日の前日より起算して20日~8日前まで	旅行代金の 20%
旅行出発日の前日より起算して7日~2日前まで	旅行代金の 30%
旅行出発日の前日	旅行代金の 40%
旅行出発日の当日	旅行代金の 50%
旅行開始後及び無連絡不参加	旅行代金の100%

●旅行条件の基準 この旅行条件は令和6年7月1日現在の運賃料金を基準としています。

国内旅行保険加入のおすすめ

この旅行は「うきうき」(国内旅行傷害保険)に加入しています。詳しくは弊社社員までご照会下さい。

個人情報取扱について

当社の個人情報の取扱の詳細については、当社ホームページ(<http://www.ntour.co.jp>)をご参照ください。

旅行企画・実施・お申込み・お問い合わせ先

(一社)日本旅行業協会 正会員 観光庁長官登録旅行業第939号 ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

TOUR (株) 農協観光 山陰支店

TEL0852-26-2600

松江市通町1-7 松江プラザビル8F
営業時間 平日9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
総合旅行業務取扱管理者 中尾 吉徳・前田 隆宏

JA事業に関するお問い合わせ先

西いわみ地区本部	TEL0856-22-1589	中西事業所	TEL0856-28-0502
益田中央支店	TEL0856-24-1870	津和野支店	TEL0856-72-0711
益田東支店	TEL0856-27-0003	日原支店	TEL0856-74-0226
美都事業所	TEL0856-52-2411	六日市支店	TEL0856-77-0014
西益田支店	TEL0856-25-2504	柿木事業所	TEL0856-79-2316
匹見事業所	TEL0856-56-0160		

※お客様の状況によっては、当初の行程内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要となる可能性があります。詳細は別途お渡しする「旅行取引条件説明書」の「3.お申込み条件」を確認の上、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので、必ずお申し出ください。総合旅行業務取扱管理者と、お客様の旅行を取り扱う支店での取引に関する責任者です。このご旅行に関してご不明な点がございましたらご連絡の上上記の取扱管理者におたずね下さい。



GOLF COMPETITION

第12回 JALしまね 西いわみ地区本部 組合員

親睦ゴルフコンペ開催

11月24日
 萩・石見カントリー倶楽部
 申込締切
10月18日

日 時

令和6年11月24日(日) 午前7時00分受付開始
 午前8時00分からOUT・IN同時スタート
 40組(約150人)予定

申込締切日

10月18日(金) 定員になり次第締め切り。

場 所

萩・石見カントリー倶楽部
 山口県萩市大字下田万897番地 TEL 08387-3-1100

ルール及び賞

- ①ダブルペリア方式
- ②優勝、準優勝、飛び賞、ブービー賞、ドラコン・ニアピン賞他多数用意
- ③参加者全員に参加賞贈呈
- ④プレー代・食事代は各自でご精算ください。

参加料

1人2,000円 (当日徴収)

結果報告

表彰式無し。後日参加者全員に結果表、該当者に各賞をお送りします。

参加方法

最寄りの各部・支店に下記申込書を提出下さい。
 原則4人1組でお申し込みをお願いします。

お問い合わせ先 企画総務部・総務ふれあい課

TEL 0856-22-1589 FAX 0856-23-0788 E-mail:fureai.niw@ja-shimane.gr.jp

キリトリ

第12回 JALしまね 西いわみ 組合員 親睦ゴルフコンペ 参加申込書

	氏名 (フリガナ)	住 所	TEL・FAX
1			(TEL) (FAX)
2			
3			
4			



安全で美味しい島根の県産品認証制度「美味しまね認証」

美味しまね認証とは

美味しまね認証は、産品が県の定めた GAP（農業生産工程管理）基準に基づき、生産されていることを認証する県の GAP 認証制度です。

「認証マークが目印！」

「縁結び」にちなんだ「水引き」をモチーフとし、消費者への贈り物の気持ちが込められています。



GAP とは

GAP とは「Good Agricultural Practice（よい農業の取り組み）」の略で、「農業生産工程管理」と訳されます。これは食品安全、環境保全、労働安全等の観点から、生産・出荷工程において、事前に危害を及ぼす要因を検討し、未然防止のための管理手順、点検項目を定め、これに沿って農業生産の実施、記録、点検、評価を繰り返して行う一連の取組のことです。

持続可能な取組へ

島根県内の生産者は、日々GAP の取組を積み重ねることで、食品の安全だけでなく、水や土・生き物などの周囲の環境保全に努め、作業者の労働安全にも配慮しながら、持続可能な農業を目指しています。



食卓に安全を届ける

異物混入を防ぐ、農業を正しく利用するなどの取組を行っています



環境にやさしい

農薬や肥料は適切に使い、さまざまな生き物との共生を目指し、環境保全に配慮した取組を行います



農業者の笑顔を守る

安全に農作業を行うために危険な作業を把握し、服装や機械の使い方など、ルールをつくって実践します



動物にやさしい

飼育環境に配慮した農場で、良質な飼料や水の給与を行い、適切に管理します

美味しまねフェアの開催予定

日時：令和6年11月19日（火） ※予定

場所：キヌヤSC店（益田市常磐町4-38）

内容：美味しまね認証産品（農産物）の販売



美味しまね認証についてのお問い合わせ

美味しまね認証の詳しい情報は、ホームページからご覧いただけます。

美味しまね認証ホームページ <https://oishimane.com/>

「問合せ先」 島根県西部農林水産振興センター益田事務所 TEL:0856-31-9616





組 合 員 様 限 定

肥料農業 インターネットショップ

JAねっとショップしまね

JAねっとショップしまねとは・・・
ご自宅のパソコンやスマートフォンなどの
非対面チャネルから肥料・農業が注文可能な
JAしまねの新サービスです。
※令和6年4月より稼働開始



ねっとショップ限定

キャンペーン実施！！



キャンペーン期間中、『JAねっとショップしまね』
へ**会員登録※1**の上、下記商品を**予約注文※2**すると…

※1 新規会員登録はキャンペーン期間に関係なく常時申込可能です。会員登録の完了まで、1～3日程度要しますのでお早めにご登録ください。すでに会員登録されている方は予約注文へお進みください。

※2 『令和6年度JAねっとショップしまねキャンペーン』予約企画からの注文のみ対象ですのでご注意ください。予約注文方法については裏面をご参照ください。

ラウンドアッフルマックスロード：5.5L

12,500円(税込)
(通常価格 13,366円 (税込))

ラウンドアッフルマックスロード：20L

42,500円(税込)
(通常価格 45,040円 (税込))

バスタ液剤：5L

21,000円(税込)
(通常価格 22,376円 (税込))

バスタ液剤：10L

37,200円(税込)
(通常価格 39,509円 (税込))

キャンペーン実施期間

令和6年8月28日(水)～令和6年9月10日(火)

※新規会員登録・予約注文手順の詳細につきましては、裏面をご参照ください。



～新規会員登録・予約注文手順～

①会員登録の専用サイトを開く

会員登録サイトの画面より『新規ユーザー』をクリックしてください。

※JALまねでの事前の「**購買利用登録**」が必要となりますので、ご登録のない方はお問い合わせの上お手続きください。



②会員登録を行う

Eメールアドレスを入力し送付すると、Eメールが届きます。受信したEメールに記載のURLをクリックして、**氏名、住所、所属地区本部名**等必要事項を入力します。



③会員登録完了

入力内容とJAの組合員情報との照合後に、ログインに必要な情報をEメールでお知らせします。

※1週間以上経過しても、メールが届かない場合は、JAまでお問い合わせください。

④予約注文企画の選択

ログイン後『予約注文入力』をクリックし、続いて『令和6年度JAねっとショップしまねキャンペーン』をクリックしてください。



⑤数量の入力・注文完了

注文する品目の数量を入力し、注文確定画面まで進み『ok』をクリックすると注文が完了します。※キャンペーン実施期間中は数量の修正が可能です。



⑥商品の配送およびお支払

予約注文とりまとめ期間経過後、JA委託配送業者により商品をお届けします。

また、代金決済は口座引き落としとさせていただきます。



ご利用登録は、右の二次元コードまたは下記のURLからアクセスをお願いします。
<https://jac-toru.zennoh.or.jp/Account/new?kencd=61>



【注意点】※ご利用にはメールアドレスが必要です。

※zennoh.or.jpのドメインからメールが受信できるよう設定をお願いします。

お問い合わせ



西いわみ地区本部 営農経済部 経済課

TEL : 0856-23-0933

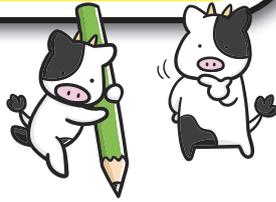
Mail : shizai.niw@ja-shimane.gr.jp

クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

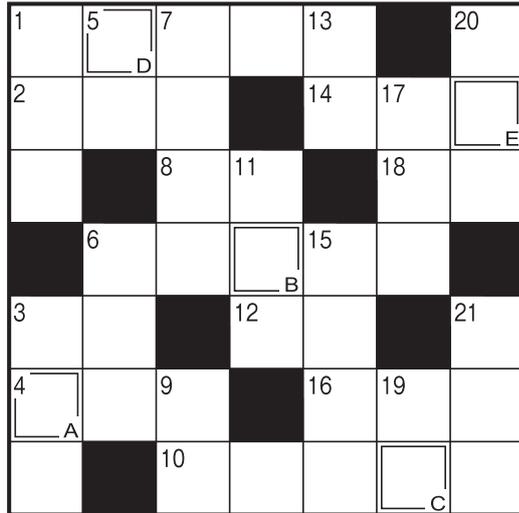
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2024年8月号

CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タデのカギ

- ① わらなどで編んで米や炭を詰めます
- ③ 「J」や () のこと
- ⑤ 長く連れ添った夫婦は似てくる
とか
- ⑥ アキアカネ、オニヤンマといえ
ば
- ⑦ からすみはボラなどの——を加工した
ものです
- ⑨ 食パンのふちの部分
- ⑪ 筒に強く息を送り込んで矢を飛ば
します
- ⑬ 派手なところがありません
- ⑮ 明日の授業に備えて——をした
- ⑰ 房で売られる果物
- ⑲ 神の起こした洪水を箱舟で乗り
越えました
- ⑳ 天竺牡丹(てんじくぼたん)と
も呼ばれるキク科の花
- ㉑ 一時的に寝ること

ヨコのカギ

- ① 9月2日は——の日。ハズレく
じ対象の抽選もあります
- ② ドミノとかドファラとか
- ③ 握りずしを数えるときに使う
葉
- ④ ミヨウガはこの部分や若い茎を
食べます
- ⑥ 前身は江戸です
- ⑧ 敬老の日に——へ日本酒を贈っ
た
- ⑩ 素晴らしい考えのこと
- ⑫ 南の島に似合う植物
- ⑭ ——手振りを交えて説明した
- ⑯ 急須のお茶を注ぎます
- ⑰ ノブを持ってあけます

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



● 賞品

正解者の中から抽選で30名(JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

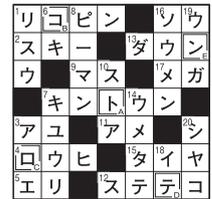
〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係
2024年9月6日(金)(当日消印有効)

・先月号は、西いわみ地区本部管内で71人の方からご応募いただきました。

◆ 先月号の答え ◆

「トコロテン」



川柳の広場

最優秀賞

人生は悔いと焦りの鬼ごっこ

津和野町 田中とよし様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

優秀賞

あれこれとあつて世の中難しい

隠岐の島町 上川 晃一様

佳作

逆らわず流れに任す老い二人

出雲市 榎井 伸幸様

佳作

楽しさを見つけて挑戦旅続く

江津市 湯浅志津子様

佳作

大空を突き抜けていく好奇心

あるがまま生きた足跡日記帳

風呂直し畳を替えて孫を待つ

思い出の鯉のぼり飛べ僕もどぶ

気がつけば七十の坂越えていた

出雲市 北村 功様
出雲市 佐野美和子様
江津市 渡津かずお様
浜田市 山内 睦重様
益田市 竹田 数子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください!

「家の光」9月号定価 922円

ご購入は、お近くのJAへお問合せください。

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX : 0852-67-7708
Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

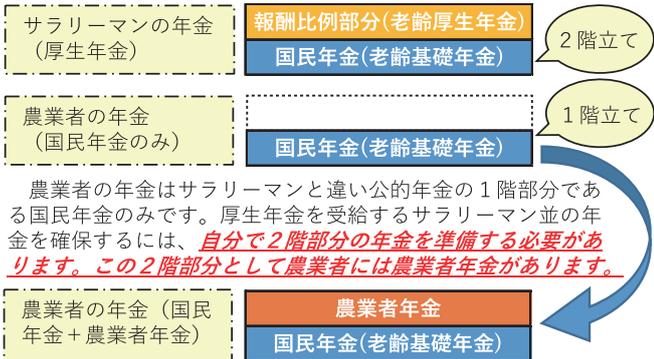
最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないと損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？



農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
 だけど税金が多くかかるのでは…
 なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万1千2千円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

↓
月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…



※ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者

の方なら **どなたでも** 加入できます。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
 ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は最寄りのJAまでご連絡ください。JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店にお問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

- 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852
- 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600
- 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852
- 隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

焼きカボチャのほかほかマリネ



材料 (4人分)

カボチャ… 1/3玉 (600g)
 A 酢……………大さじ2
 水……………50cc
 白だし……………大さじ2
 ベーコン……………2枚
 しめじ……………1袋
 紫タマネギ……………1玉
 赤パプリカ……………1/2玉
 オリーブ油……………小さじ1
 B 酢……………大さじ1
 オリーブ油……………大さじ1
 砂糖……………小さじ1
 塩……………少々
 パセリ(または青しそ) ……適量

作り方

- ①カボチャは種とワタを取り、厚さ7～8ミリの薄切りにする。
- ②魚焼きグリルにカボチャを並べ入れて焼く。両面こんがり焼き色をつけ、柔らかくなったら(竹串がすっと通るまで10分程度焼く)バットに取り出し、混ぜ合わせたAをかけて浸しておく。(※カボチャの焼き浸し)
- ③ベーコンは長さ1センチに切り、しめじは小房に分けておく。
- ④タマネギ、パプリカは薄くスライスする。
- ⑤フライパンにオリーブ油を熱し、ベーコンを炒め、しめじも加えてしんなりするまで炒め、火を切る。
- ⑥⑤にスライスしたタマネギとパプリカ、混ぜ合わせたBを加え、②のカボチャの焼き浸しにかける。
- ⑦器に盛り、パセリまたは青しそを飾る。

コメント

- ・カボチャの焼き浸しは、冷蔵庫で5日間保存できます。
- ・香ばしく焼き上げたカボチャが熱いうちに液に浸すと味がしみ込みやすいです。
- ・カボチャはオーブントースターでも焼けます。また、フライパンで焼いても美味しくできます!

アレンジ

- ・カボチャの焼き浸しは、マヨネーズと和えてサラダにしたり、メインの付け合わせにしたり、すぐ使えて便利です。
- ・カレー粉やマスタードを加えると、スパイシーな味も楽しめます。
- ・パプリカはニンジンやトマトに、紫タマネギは普通のタマネギに替えたり、シシトウ、ピーマン、レンコンもOK!

材料 (4人分)

ナス……………2本
 豚ロース薄切り……………8枚
 青しそ……………8枚
 小麦粉……………適量
 サラダ油……………大さじ1
 A 梅干し……………1個
 酒……………大さじ1
 みりん……………大さじ1
 濃口醤油……………大さじ1
 水……………大さじ1

作り方

- ①ナスは長さを半分にとって、4等分にし、小麦粉を薄くまぶす。
- ②豚肉を広げ、小麦粉を軽く振り、青しそ1枚、ナス2本を肉の上に乗せて、らせん状に巻く。残りも同様に巻く。
- ③フライパンに油を熱し、②に小麦粉を薄く振り、巻き終わりを下にして並べて焼く。
- ④焼き色がついたら裏返し、蓋をして弱火で4～5分間蒸し焼きにする。
- ⑤フライパンについた余分な脂をふき、Aを加えてからめる。

コメント

- ・梅の酸味で食欲倍増!お弁当のおかずやおつまみにもおすすめです!
- ・ナスは体の熱を冷まして、余分な水分を排出し、消化機能も高める夏にぴったりの食材です!

ナスの肉巻き梅照り焼き



アレンジ

- ・豚ロースは豚バラ肉に替えても美味しくできます!
- ・ナスをズッキーニに替えてもOK!

健康散歩

もしかして夏バテ予備軍かも?!危険度チェックで備えよう

JA島根厚生連

暑い日が続いていますが、みなさん『夏バテ』していませんか?

『夏バテ』とは、夏の暑さによる自律神経系の乱れに起因して現れる様々な症状のことで、「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」「寝不足」などが主な症状です。

【夏バテ危険度チェック】

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 汗をかきにくい | <input type="checkbox"/> 朝(起きた時に)調子がなんとなく悪い |
| <input type="checkbox"/> 空調の効いた場所にいる時間が長い | <input type="checkbox"/> 運動習慣がありません |
| <input type="checkbox"/> 冷たい飲みもの・食べ物を多くとる | <input type="checkbox"/> 生活リズムが不規則 |
| <input type="checkbox"/> 胃腸の不調がある | <input type="checkbox"/> シャワーで済ませることが多い |
| <input type="checkbox"/> 睡眠が足りてない | |

6個以上▶夏バテ予備軍/3～5個▶要経過観察/2個以下▶異常なし

夏バテチェックリスト(リンナイ調べ/監修:せたがや内科・神経内科クリニック 久出堅司院長)

3個以上当てはまる時は、早めの生活習慣見直しが必要です。まずは、できることから少しずつ改善していきましょう。

【毎日の夏バテ予防法】

1. 日頃から、昼寝を10～15分程度とる
2. 軽い脱水状態や熱中症初期には経口補水液などでの対処を徹底する
3. 軽い脱水症状や熱中症になったあとは、1～2週間回復に努め無理をしない
4. 暑い夜は、エアコンを使い快適な睡眠環境で十分な睡眠をとる
5. 冷たい飲み物の過剰摂取を控え、胃腸に負担をかけないように注意する
6. 適度な運動や入浴で、体に備わっている体温調整機能を働かせる

適切な水分補給、食事、運動、睡眠など生活習慣に注意し、生活リズムを整えましょう。それでも「夏バテ」症状が続く場合は、もしかしたら病気が潜んでいるかもしれません。医療機関へのご相談も考えてみてください。

まだまだ、暑い日が続きます。夏バテに気を付けて夏を乗り越えましょう。



【編集後記】今年 は家庭菜園で初めてシシトウを育てており、カメムシ駆除に苦戦しながらもたくさんの実がなってホクホクしています。収穫後、食べ方に迷いましたが、個人的にベーコンと炒めるのが美味しかったです。他にもおすすめの食べ方がありましたらぜひ教えてください😊☺(古)

